

The 402nd
ginza graphic gallery
Exhibition

八木幣二郎
Heijiro Yagi

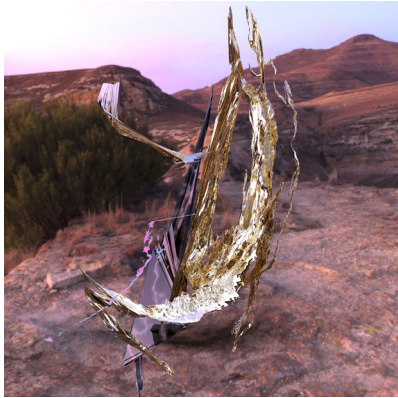
NOHIN:
The Innovative
Printing
Company

05.24 FRI—
07.10 WED, 2024

ggg

 **NOHIN**

新しい印刷技術で超色域社会を支えるノーヒンです



1. Art installation "Dynamesh" at T-HOUSE New Balance(2022) 2. 砂の本 THE BOOK OF ARENA at POST-FAKE projects(2023) *布施琳太郎との二人展
3,4. "Creature Typography"(2021)*個人制作 5. Artur M Puga "_arturmpuga"(2022)

ギンザ・グラフィック・ギャラリー第402回企画展
八木幣二郎 Heijiro Yagi
NOHIN: The Innovative Printing Company
新しい印刷技術で超色域社会を支えるノーヒンです
05.24 FRI—07.10 WED, 2024

デジタル・ネイティブと称される世代の、さらに後続世代である八木幣二郎は、3DCG用ソフトウェアZBrushを駆使し、三次元(空間)を二次元(平面)に畳み込むような質感を追求しています。その清新な視点と方法論でグラフィックデザインの世界と切り結び、新しい風を送り込んでいる注目すべき新鋭です。

本展の1階では、SFの設定に基づく架空の巨大印刷会社「NOHIN社」のCI(コーポレートアイデンティティ)を、“並行世界”の価値観とルールに基づいて、様々なアイテムや資料に展開。地階では、日本のグラフィックデザイン史を彩る巨星デザイナー10名の傑作ポスター約20点とともに、3DCGが存在する“並行世界”のオルタナティブな可能性として、それぞれのポスターを再解釈した八木幣二郎による新作を発表します。

彼は平面ではなく奥行きを、言語ではなく文字を、色彩ではなく拡散と屈折をデザインする。(布施琳太郎/アーティスト)

八木幣二郎(やぎへいじろう)

1999年、東京都生まれ。グラフィックデザインを軸にデザインが本来持っていたはずのグラフィカルな要素を未来から発掘している。ポスター、ビジュアルなどのグラフィックデザインをはじめ、CDやブックデザインなども手がけている。主な展覧会に、個展「誤植」(2022年/The 5th Floor)、「Dynamesh」(2022年/T-HOUSE New Balance)、「グループ展」power/point」(2022年/アキバタマビ21)がある。

協力作家

浅葉克己、勝井三雄、亀倉雄策、杉浦康平、田中一光、戸田ツトム、長友啓典、福田繁雄、松永 真、横尾忠則

協力: volvox、ポスターハリス・カンパニー 施工: ARTIFACT
 印刷: エクター、FLATLABO 装置制作: 板垣勇太(KIENGI)、板垣竜馬(GYOSHA)
 機材協力: TOKYO IDEA EXCHANGE by 東京建物 3DCG協力: しばしん
 音楽: Prius Missile+リツコ テキスト: 布施琳太郎、酒井瑛作、中村陽道

企画制作: 亜洲中西屋 (ASHU)

ギンザ・グラフィック・ギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座7-7-2 DNP銀座ビル1F/B1F
 Tel: 03-3571-5206 Fax: 03-3289-1389
<https://www.dnptcp.jp/gallery/ggg/>
 開館時間: 11:00am-7:00pm
 休館: 日曜・祝日/地下鉄銀座駅徒歩5分/入場無料



オープニングパーティ、ギャラリートーク等の開催につきましては、ギャラリー HPにて最新情報をご確認ください。

